



お手入れマニュアル

室内ドア／クロゼット／シューズボックス／カウンター

■	安全にお使いいただくために	P.2
■	調整方法についてお願い	P.2
■	ご理解いただきたいこと	P.3
■	日常のお手入れ方法	P.4
■	室内ドア	P.5
	簡単な調整方法 Q&A	
	開きドア	P.5
	引き戸	P.13
	吹抜用両開き窓ドア	P.24
	使用上のご注意	P.25
■	クロゼット	P.27
	簡単な調整方法 Q&A	
	クロゼット折れ戸	P.27
	クロゼット開き戸	P.29
	クロゼット引き違い折れ戸	P.31
	使用上のご注意	P.32
■	カウンター・パレットクオ・飾り棚板	P.37
	使用上のご注意	P.37

安全にお使いいただくために

ケガや事故防止のために、以下のことを必ずお守りください。

- 表示内容を見逃して誤った工事・使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明します。

	注意	この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。
--	----	---

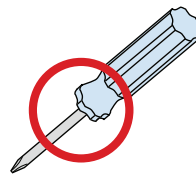
- お守りいただく内容の種類を次の図記号で区分し、説明します。

	禁止	この図記号は、製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するものです。
	強制	この図記号は、製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。

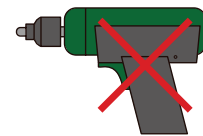
調整方法についてのお願い

- 本書には簡単な調整方法を掲載しておりますが、無理に直そうとしますと落下・破損・ケガの恐れがあり危険です。
施工業者様までご連絡またはご相談ください。

- 調整には手回しドライバーを使用してください。電動式ドライバーで強く締めすぎると部品が破損する恐れがあります。



手回しドライバー



電動式ドライバー

ご理解いただきたいこと

木質材料の性質について

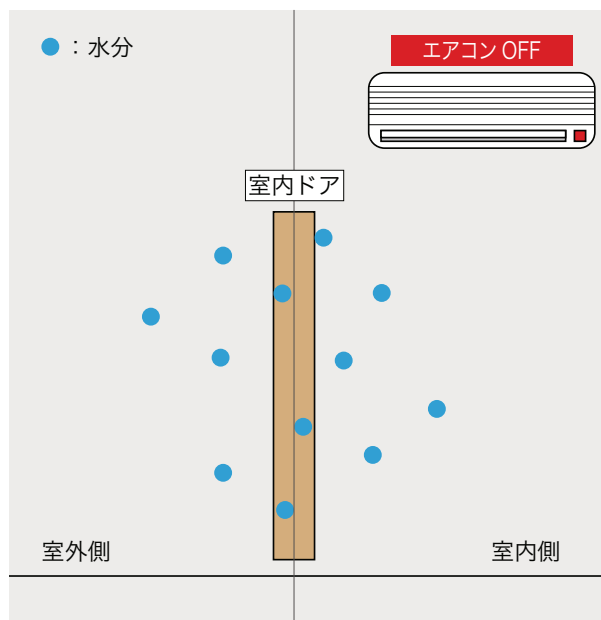
■木質製品(室内ドア、収納用扉など)の「反り」

木質材料(パーティクルボード、MDFなど)を加工してつくられた製品は、空気中の水分を吸収・放出して伸縮する特性を持っています。これは温度、湿度等の環境条件が変化することにより起こる自然現象といえます。

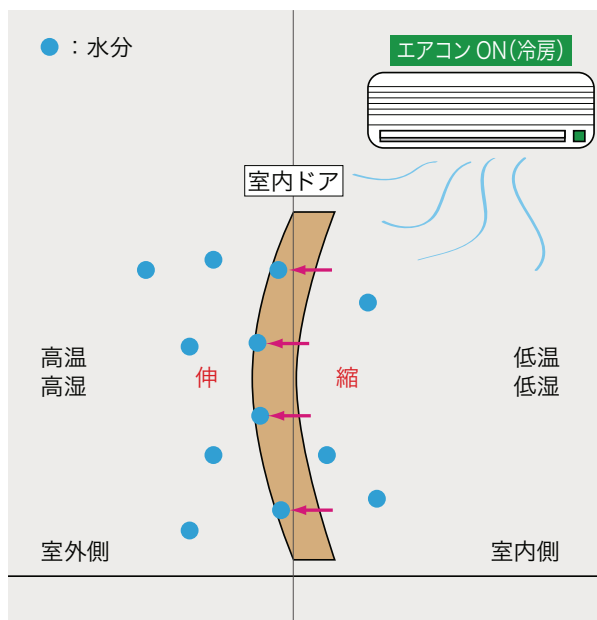
例えば下図のように、室内ドアをはさんだ室内側と室外側で環境条件が大きく異なる場合があります。この場合、空気中の水分が室外側に移動するため伸縮が起こり、「反り」が発生することがあります。

「反り」発生のメカニズム

◆ドアをはさんで室内側と室外側の環境条件が均一で反りにくい状態



◆夏の暑い日になりやすい室内・外の環境条件
空気中の水分が移動し、ドアが反っている状態



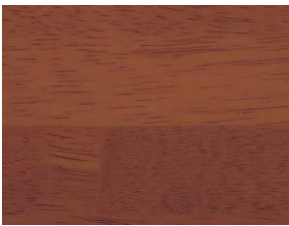
●「反り」防止ポイント

「反り」の発生をできるだけ抑える方法として、次のことにご注意ください。

- ①冷暖房機器をお使いの場合、冷風や温風が直接当たらないようにご配慮ください。
- ②製品に直接日光が当たる場所は、窓にカーテンやブラインドなどを設けて日光をさえぎってください。
- ③製品周辺(例えば室内ドアの室内側と室外側)において温度、湿度等の環境条件の差を極端に大きくしないでください。
- ④発生した「反り」は経時により、小さくなる場合があります。開閉に支障がない限りしばらく様子を見てください。

■天然木を使用している製品

天然木を使用している製品は、同じ樹種であってもまったく同じ木目、色調となることはありません。柾目、板目の違いや塗装の吸い込み量によって多少色違いが出る場合があります。さらに小さな節や入り皮、木目の曲がりや逆目など、天然木はそれぞれの個性を持っています。これらをそのまま生かし、自然素材ならではの豊かな表情と美しさを演出しています。



木目、色のバラツキ



節



入り皮



特長のある木目

日常のお手入れ方法

お願い お手入れは乾いたやわらかい布で乾拭きをしてください。

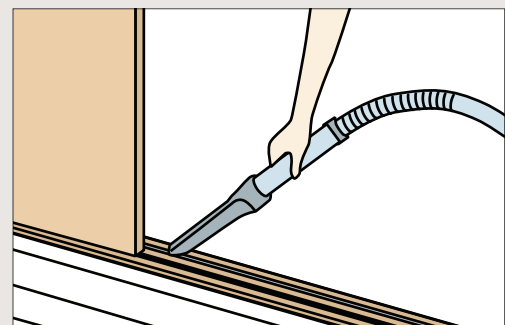
日常のお手入れは乾いたやわらかい布または化学雑巾で乾拭きしてください。ひどい汚れ、または落ちにくい汚れは中性洗剤を薄めて固く絞った雑巾で拭き取ってください。汚れがひどい場合でも酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤（シンナー・ベンジン）などは絶対に使用しないでください。

※化学雑巾のご使用にあたっては、必ず使用用途をご確認ください。



お願い ゴミがたまらないようレールの溝はこまめにお掃除をしてください。

レールの溝にゴミやペットの毛などがたまりまると、扉の滑らかな走行の妨げとなり、故障の原因となります。掃除機などでこまめに掃除してください。



簡単な調整方法 Q & A 開きドア

室内ドア

クロゼット

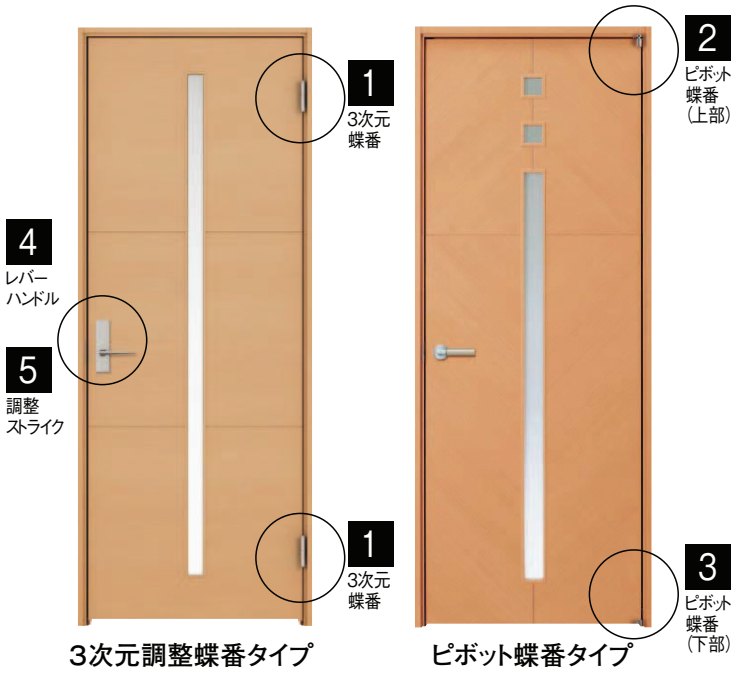
シューズボックス

カウンター

開きドア各部名称

片開きドア

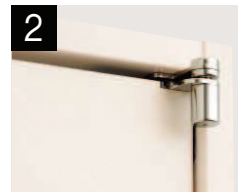
親子ドア



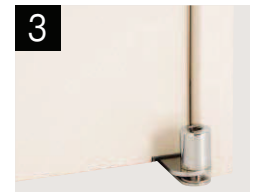
片開きドア(ファインモーション機構付き)



3次元調整蝶番



ピボット蝶番(上部)



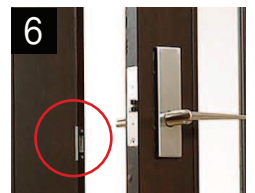
ピボット蝶番(下部)



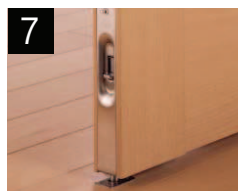
レバーハンドル



調整ストライク



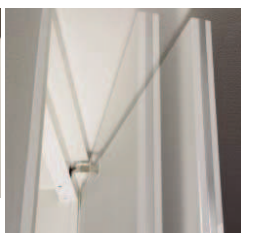
調整ストライク(子ドア側)



フランス落とし(子ドア側)



ファインモーション機構



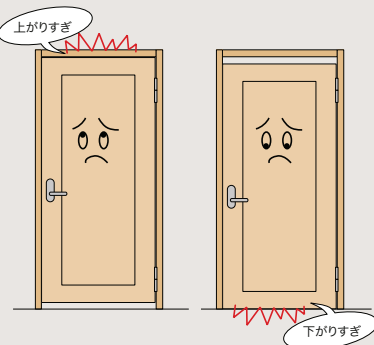
Q

ドア本体が枠や床に当たる。ドア本体と枠のすき間が一定にならない。

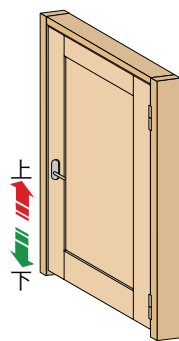
A

蝶番の調整(上下・前後・左右)を行ってください。

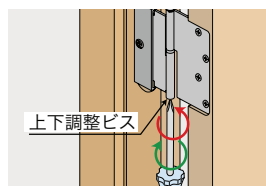
【ドア本体が上枠や床に当たっている場合】



蝶番の上下調整



3次元調整蝶番の場合

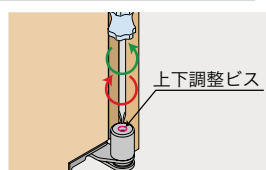


上下調整ビスを回してドア本体を上下に調整します。

調整範囲(出荷基準位置より)
右回し：上に1mm
左回し：下に3mm

※蝶番は必ず上下2枚とも調整を行ってください。

ピボット蝶番の場合

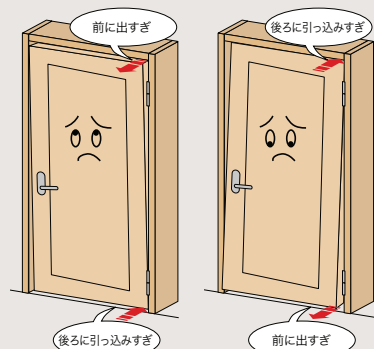


上下調整ビスを回してドア本体を上下に調整します。

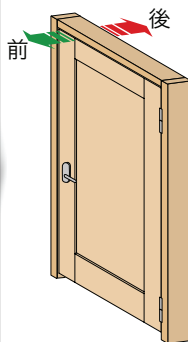
調整範囲(出荷基準位置より)
右回し：上に2mm
左回し：下に2mm

※上下調整は下用蝶番のみとなります。

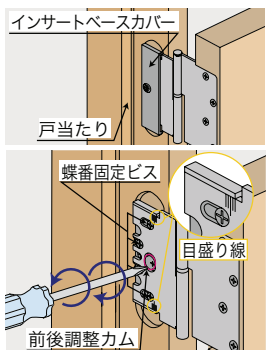
【ドア本体が前後に傾いている場合】



蝶番の前後調整



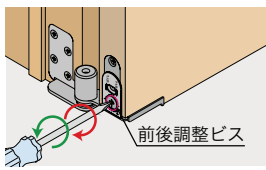
3次元調整蝶番の場合



- ① インサートベースカバーを外します。
- ② 蝶番固定ビスを4本とも緩めます。
- ③ 前後調整カムを回して、目盛りを目安に位置を決めます。左右どちらに回しても前後調整が可能です。
- ④ 調整終了後は蝶番固定ビスを締め、インサートベースカバーを取り付けます。

調整範囲(長い目盛り線位置より)
後ろ(戸当たり側)に2mm
前に2mm

ピボット蝶番の場合

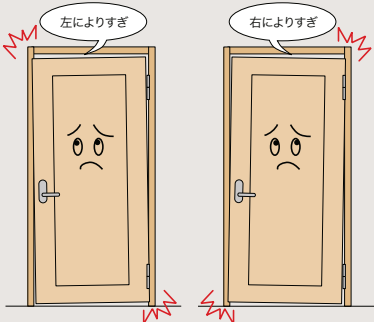


前後調整ビスを回してドア本体を前後に調整します。

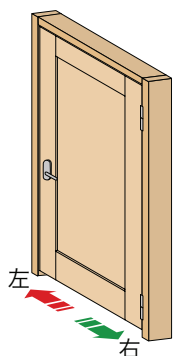
調整範囲(出荷基準位置より)
右回し：後ろ(戸当たり側)に1.5mm
左回し：前に1.5mm

※1目盛りで約0.5mm動きます。

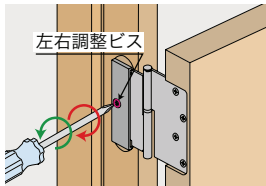
【ドア本体が縦枠に当たっている場合】



蝶番の左右調整



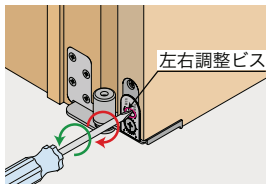
3次元調整蝶番の場合



左右調整ビスを回してドア本体を左右に調整します。

調整範囲(出荷基準位置より)
右回し：左(レバーハンドル側)に2mm
左回し：右(蝶番側)に2mm

ピボット蝶番の場合



左右調整ビスを回してドア本体を左右に調整します。

調整範囲(出荷基準位置より)
右回し：左(レバーハンドル側)に2mm
左回し：右(蝶番側)に2mm

簡単な調整方法 Q & A 開きドア

Q

親子ドアのドア本体同士がずれている。ドア本体同士や枠に当たる。

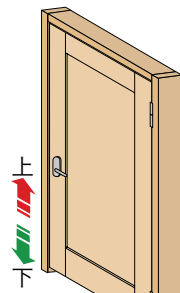
A

蝶番の調整(上下・前後・左右)を行ってください。

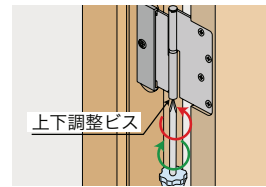
【親子のドア本体同士が合わない場合】



蝶番の上下調整



3次元調整蝶番の場合

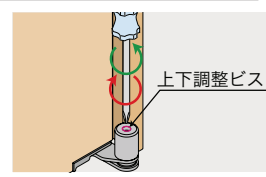


上下調整ビスを回してドア本体を上下に調整します。

調整範囲(出荷基準位置より)
右回し: 上に1mm
左回し: 下に3mm

※蝶番は必ず上下2枚とも調整を行ってください。

ピボット蝶番の場合

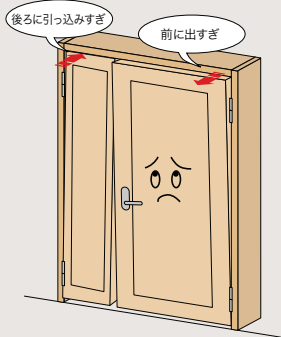


上下調整ビスを回してドア本体を上下に調整します。

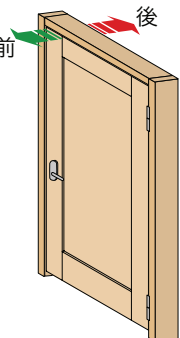
調整範囲(出荷基準位置より)
右回し: 上に2mm
左回し: 下に2mm

※上下調整は下用蝶番のみとなります。

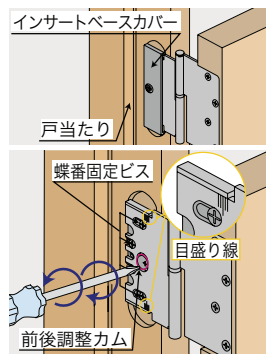
【ドア本体が前後に傾いている場合】



蝶番の前後調整



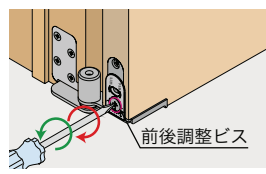
3次元調整蝶番の場合



- ① インサートベースカバーを外します。
- ② 蝶番固定ビスを4本とも緩めます。
- ③ 前後調整カムを回して、目盛りを目安に位置を決めます。左右どちらに回しても前後調整が可能です。
- ④ 調整終了後は蝶番固定ビスを締め、インサートベースカバーを取り付けます。

調整範囲(長い目盛り線位置より)
後ろ(戸当たり側)に2mm
前に2mm

ピボット蝶番の場合



前後調整ビスを回してドア本体を前後に調整します。

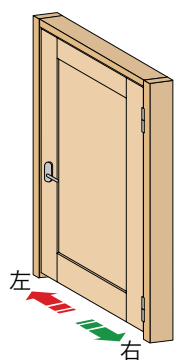
調整範囲(出荷基準位置より)
右回し: 後ろ(戸当たり側)に1.5mm
左回し: 前に1.5mm

※1目盛りで約0.5mm動きます。

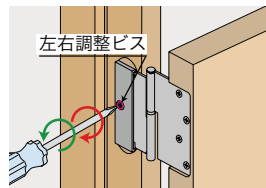
【ドア本体同士や枠に当たっている場合】



蝶番の左右調整



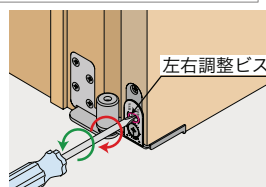
3次元調整蝶番の場合



左右調整ビスを回してドア本体を左右に調整します。

調整範囲(出荷基準位置より)
右回し: 左(レバーハンドル側)に2mm
左回し: 右(蝶番側)に2mm

ピボット蝶番の場合



左右調整ビスを回してドア本体を左右に調整します。

調整範囲(出荷基準位置より)
右回し: 左(レバーハンドル側)に2mm
左回し: 右(蝶番側)に2mm

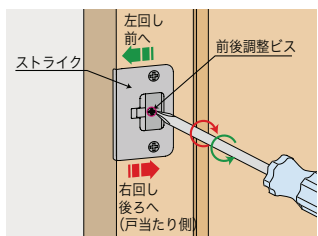
Q

ラッチがガタガタする。ラッチがかからない。

A

- ① ストライクの調整を行ってください。
- ② ドア本体が前後に傾いている可能性がありますので、蝶番の調整を行ってください。

① ストライクの前後調整

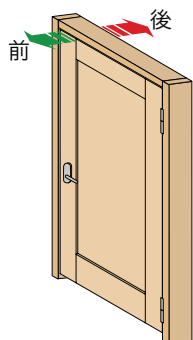


前後調整ビスを回してストライク位置を調整します。
ラッチがストライクの中でガタつく場合：右に回す。
ラッチがかからない場合：左に回す。

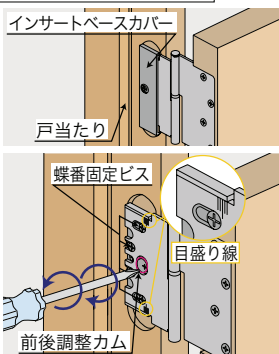
調整範囲 (出荷基準位置より)
右回し：後ろ (戸当たり側) に 2mm
※親子ドアのストライクは 2.5mm
左回し：前に 4mm
※親子ドアのストライクは 2mm

② 蝶番の前後調整

前後調整ビスにより、ドア本体を前後に調整します。



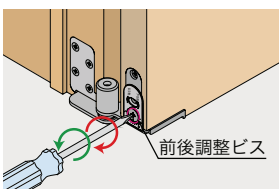
3次元調整蝶番の場合



- ① インサートベースカバーを外します。
- ② 蝶番固定ビスを4本とも緩めます。
- ③ 前後調整カムを回して、目盛りを目安に位置を決めます。左右どちらに回しても前後調整が可能です。
- ④ 調整終了後は蝶番固定ビスを締め、インサートベースカバーを取り付けます。

調整範囲 (長い目盛り線位置より)
後ろ (戸当たり側) に 2mm
前に 2mm

ピボット蝶番の場合



前後調整ビスを回してドア本体を前後に調整します。

調整範囲 (出荷基準位置より)
右回し：後ろ (戸当たり側) に 1.5mm
左回し：前に 1.5mm

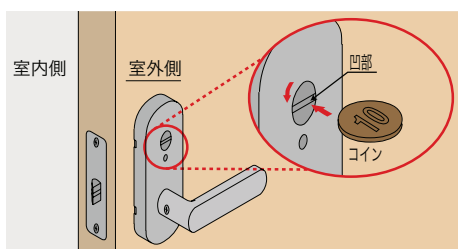
※1目盛りで約0.5mm動きます。

Q

表示錠・間仕切錠の鍵を外から解錠したい。

A

室外側から次の操作で解錠することができます。



表示錠・間仕切錠では、コインなどを使用してレバーハンドル上部にある凹部を回転させると、解錠することができます。

簡単な調整方法 Q & A 引き戸

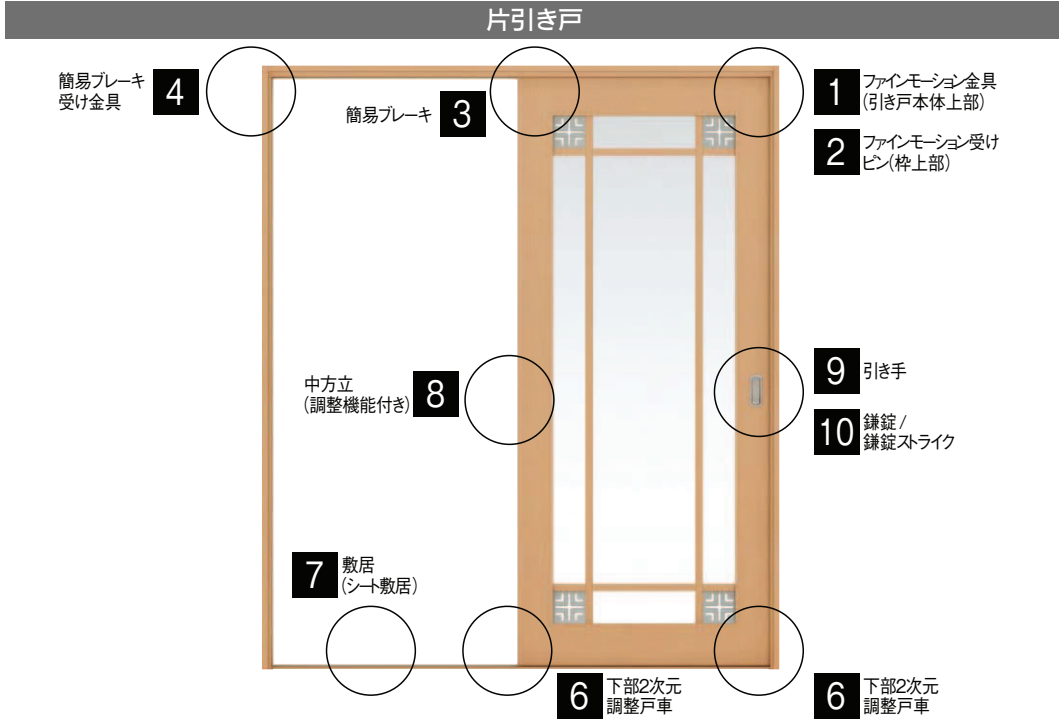
室内ドア

クロゼット

シューズボックス

カウンター

引き戸各部名称



1 ファインモーション金具 (引き戸本体上部)



2 ファインモーション受けピン(枠上部)



3 簡易ブレーキ (引き戸本体上部)



4 簡易ブレーキ受け金具 (枠上部)



5 左右調整上戸車 (引き戸本体上部)



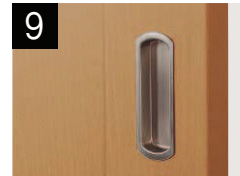
6 下部2次元調整戸車



7 敷居 (画像はシート敷居)



8 中方立 (調整機能付き)



9 引き手



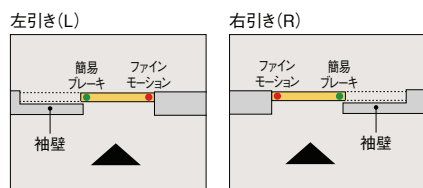
10 鎌錠 (画像は表示錠) / 鎌錠ストライク



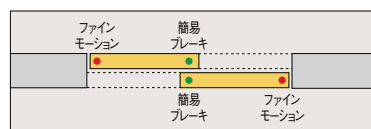
11 閉止め金具 (引き分け戸・4枚2本引き戸・2本引き込み戸・3本引き込み戸)

<ファインモーション機構・簡易ブレーキ機構・閉止め金具取り付け位置>

■片引き戸

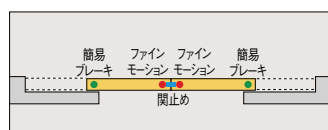


■引き違い戸

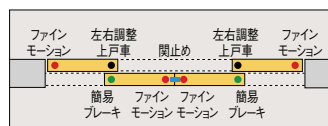


- ：ファインモーション機構位置
- ：簡易ブレーキ機構位置
- ：左右調整上戸車位置
- ：閉止め金具位置
- ▲：立ち位置

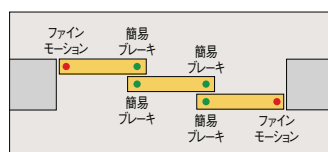
■引き分け戸



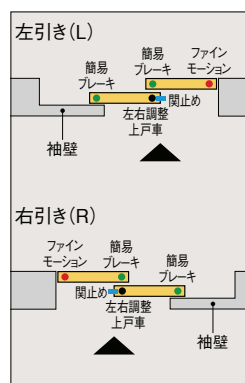
■4枚2本引き戸



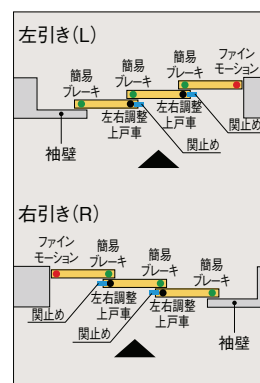
■3本引き戸



■2本引き込み戸



■3本引き込み戸



Q

引き戸本体が動きにくくなった。

A

レールや戸車にゴミなどが詰まっている可能性がありますので、レールや戸車の清掃をしてください。

①レールの清掃



レールの溝にゴミがたまりやすくと、扉の滑らかな走行の妨げとなり、故障の原因となります。掃除機などでこまめに掃除してください。

②戸車の清掃

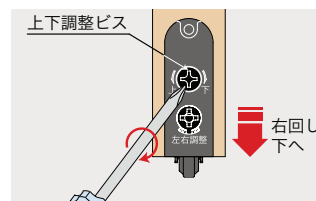
引き戸本体を外し、戸車の清掃を行ってください。

■引き戸本体の外し方



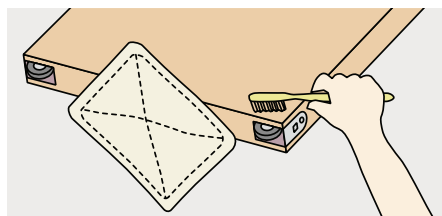
- ①引き戸本体の両端を持ち、上に持ち上げてください。
- ②下側を手前に引き、下部2次元調整戸車を外してください。
- ③斜めの状態のまま左右調整上戸車を外します。

※引き戸本体が外れにくい場合は、一度元に戻し下部2次元調整戸車の調整で引き戸本体を下側に調整してください。



お願い

※引き戸本体の取り外しを行う際、引き戸本体が倒れる恐れがあります。周りを確認した上で必ず2人以上で行ってください。



雑巾などでゴミを拭き取ってください。

簡単な調整方法 Q & A 引き戸

Q

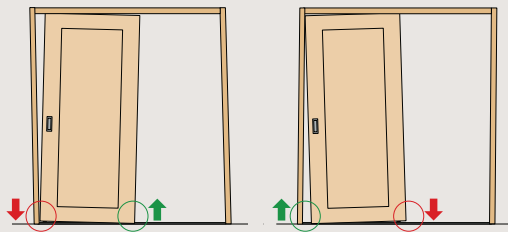
引き戸本体ががきちんと閉まらない。閉めた時にすき間ができる。

A

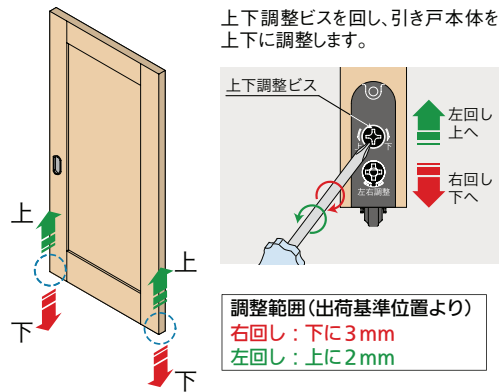
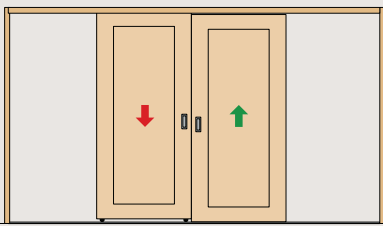
- ①引き戸本体の下部2次元調整戸車の調整を行ってください。
- ②引き戸本体と枠側の金具がぶつかっている可能性がありますので、ファインモーションや簡易ブレーキの調整を行ってください。

①下部2次元調整戸車の上下調整

【縦枠とすき間がある場合】



【引き戸本体同士的位置が合わない場合】

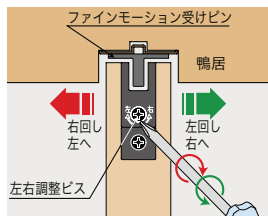


②ファインモーション金具・簡易ブレーキ受け金具の左右調整

ファインモーション金具の場合

■ファインモーション金具

左右調整ビスを回し、引き戸本体を左右に調整します。



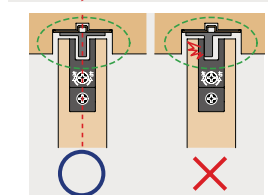
調整範囲(出荷基準位置より)
右回し: 左に2mm
左回し: 右に2mm

■ファインモーション受けピン

①取り付けビスを緩めてください。



②ファインモーション受けピンがファインモーション金具の中央になるように位置を決めてください。

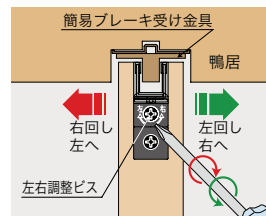


③取り付けビスを締めてください。

簡易ブレーキ金具の場合

■簡易ブレーキ金具

左右調整ビスを回し、引き戸本体を左右に調整します。



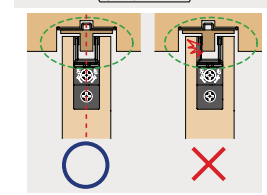
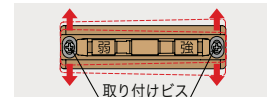
調整範囲(出荷基準位置より)
右回し: 左に2mm
左回し: 右に2mm

■簡易ブレーキ受け金具

①取り付けビスを緩めてください。



②簡易ブレーキ受け金具が簡易ブレーキ金具の中央になるように位置を決めてください。



③取り付けビスを締めてください。

Q

ファインモーション機構がうまく作動せず、ゆっくり閉まらない。

A

引き戸本体と鴨居のクリアランスが大きい可能性がありますので、引き戸本体の下部2次元調整戸車を調整してください

下部2次元調整戸車の上下調整

下部2次元調整戸車の上下調整ビスを回し、引き戸と鴨居のかかる寸法を調整してください。
設計寸法は6.6mmとなります。かかりが浅い場合には上に調整をしてください。

上下調整ビス

左回し 上へ
右回し 下へ

調整範囲(出荷基準位置より)
右回し: 下に3mm
左回し: 上に2mm

Q

簡易ブレーキがうまく作動しない。

A

- ①簡易ブレーキ受け金具の取り付け位置が合っていない可能性がありますので、調整を行ってください。
- ②簡易ブレーキ受け金具のブレーキ調整を行ってください。

①簡易ブレーキ金具の左右調整

■簡易ブレーキ金具
左右調整ビスを回し、引き戸本体を左右に調整します。

簡易ブレーキ受け金具

鴨居

右回し 左へ
左回し 右へ

左右調整ビス

調整範囲(出荷基準位置より)
右回し: 左に2mm
左回し: 右に2mm

■簡易ブレーキ受け金具
①取り付けビスを緩めてください。

②簡易ブレーキ受け金具が簡易ブレーキ金具の中央になるように位置を決めてください。

取り付けビス

③取り付けビスを締めてください。

②簡易ブレーキ受け金具のブレーキ調整

■簡易ブレーキ受け金具

縦枠

鴨居

簡易ブレーキ受け金具

レール

弱 強

ブレーキ調整つまみ

ブレーキ調整つまみを手で左右にスライドさせてブレーキの強弱を調整します。

戸の重量や開閉速度などの違いで、ブレーキの効き具合が一定になりません。ご了承ください。

簡単な調整方法Q & A 引き戸

Q

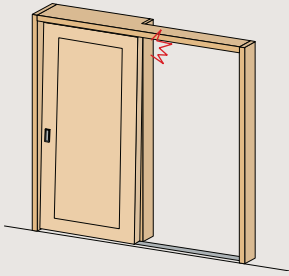
引き戸本体と中方立がぶつかる。引き戸本体同士がぶつかる。

A

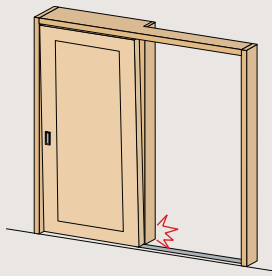
- ① ファインモーションや簡易ブレーキ、戸車の左右調整を行ってください。
- ② 中方立の調整を行ってください。

① ファインモーション金具・簡易ブレーキ金具・戸車の左右調整

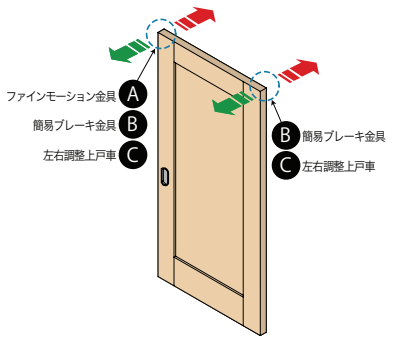
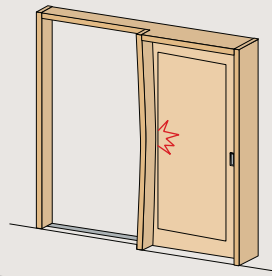
【引き戸本体の上部が中方立とぶつかる場合】



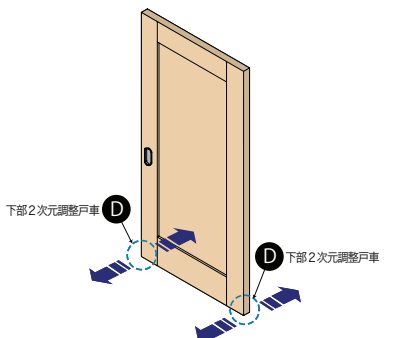
【引き戸本体の下部が中方立とぶつかる場合】



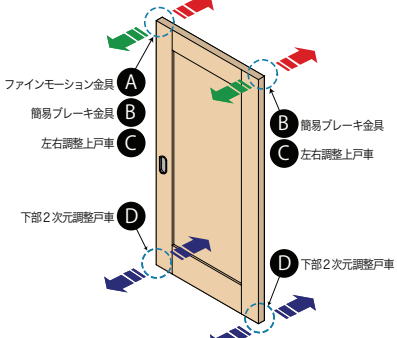
【引き戸本体の中央が中方立とぶつかる場合】



■上部調整
 ファインモーション機能付き引き戸本体の場合
 A ファインモーション金具の調整
 B 簡易ブレーキ金具の調整
 C 左右調整上戸車の調整
 ファインモーション機能が付かない引き戸本体の場合
 C 左右調整上戸車の調整



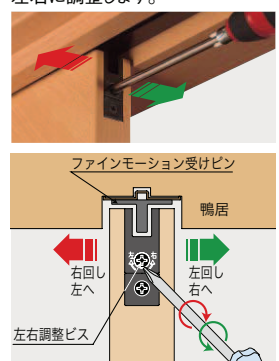
■下部調整
 D 下部2次元調整戸車の調整



■上部調整
 ファインモーション機能付き引き戸本体の場合
 A ファインモーション金具の調整
 B 簡易ブレーキ金具の調整
 C 左右調整上戸車の調整
 ファインモーション機能が付かない引き戸本体の場合
 C 左右調整上戸車金具の調整
 ■下部調整
 D 下部2次元調整戸車の調整

A ファインモーション金具の調整

■ファインモーション金具
 左右調整ビスを回し、引き戸本体を左右に調整します。



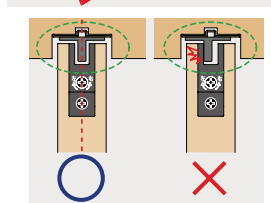
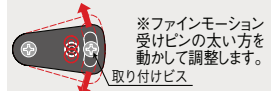
調整範囲(出荷基準位置より)
 右回し: 左に2mm
 左回し: 右に2mm

■ファインモーション受けピン

① 取り付けビスを緩めてください。



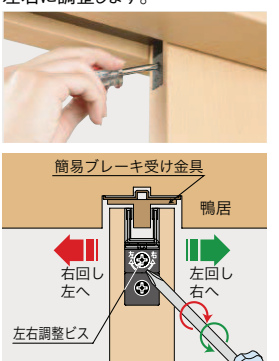
② ファインモーション受けピンがファインモーション金具の中央になるように位置を決めてください。



③ 取り付けビスを締めてください。

B 簡易ブレーキ金具の調整

■簡易ブレーキ金具
 左右調整ビスを回し、引き戸本体を左右に調整します。



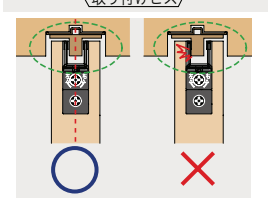
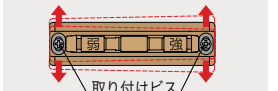
調整範囲(出荷基準位置より)
 右回し: 左に2mm
 左回し: 右に2mm

■簡易ブレーキ受け金具

① 取り付けビスを緩めてください。



② 簡易ブレーキ受け金具が簡易ブレーキ金具の中央になるように位置を決めてください。



③ 取り付けビスを締めてください。

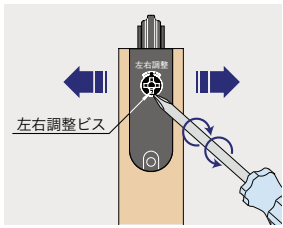
室内ドア

クロセット

シューズボックス

カウンター

㉞左右調整上戸車の調整



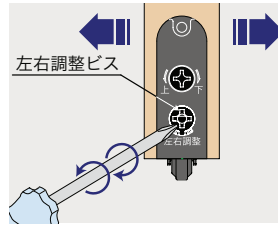
左右調整ビスを回し、引き戸本体を左右に調整します。

調整範囲(出荷基準位置より)
左に2mm、右に2mm

■左右調整ビス位置による戸車位置

- ⊕ ⊖ 戸車は中央の位置
- ⊕ ⊕ 戸車は右端の位置
- ⊖ ⊖ 戸車は左端の位置

㉟下部2次元調整戸車の調整



左右調整ビスを回し、引き戸本体を左右に調整します。

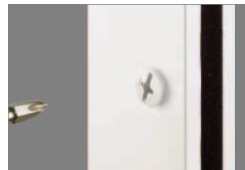
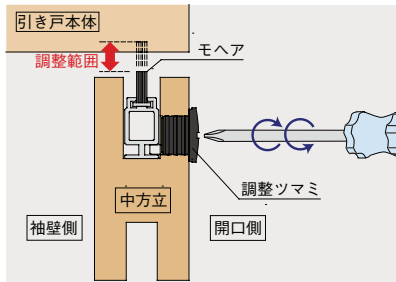
調整範囲(出荷基準位置より)
左に2mm、右に2mm

■左右調整ビス位置による戸車位置

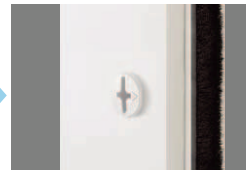
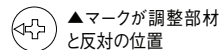
- ⊕ ⊖ 戸車は中央の位置
- ⊕ ⊕ 戸車は右端の位置
- ⊖ ⊖ 戸車は左端の位置

②中方立の出寸法調整

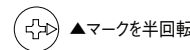
調整ツマミが3カ所(枠外高2201mm～2350mmは4カ所)ありますので、各ビスを回して調整してください。



モヘアで寸法は初期設定で1.5mmです。



調整ツマミを半回転すると、出寸法が9.0mm(最大)になります。



さらに半回転すると、元の1.5mmに戻ります。



Q

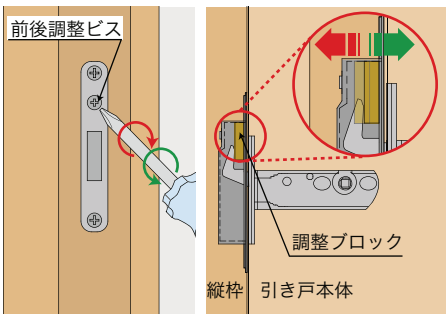
鎌錠のかけが悪くなった。

A

- ① 鎌錠とストライクの位置が合っていない可能性がありますので、ストライクの調整を行ってください。
- ② 引き戸本体が傾いている可能性がありますので、戸車の上下調整を行ってください。

① 鎌錠ストライクのかかり調整

鎌錠ストライクの前後調整ビスを回し、鎌錠の鎌部分のかかりを調整します。

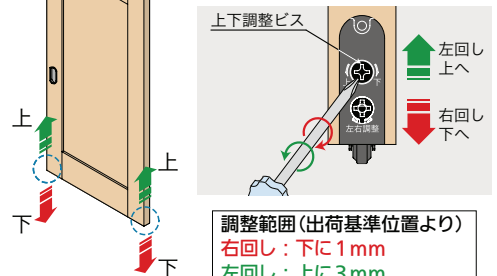


調整範囲(出荷基準位置より)

- 右回し：調整ブロックが奥に2.8mm
- 左回し：調整ブロックが手前に移動

② 下部2次元調整戸車の上下調整

下部2次元調整戸車金具の上下調整ビスを回し、引き戸本体を上下に調整します。



調整範囲(出荷基準位置より)

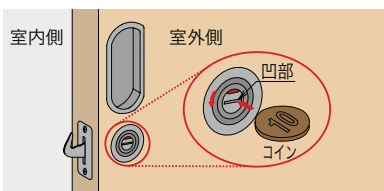
- 右回し：下に1mm
- 左回し：上に3mm

Q

表示錠・間仕切錠の鍵を外から解錠したい。

A

室外側から次の操作で解錠することができます。



表示錠・間仕切錠では、コインなどを使用して鎌錠にある凹部を回転させると、解錠することができます。

使用上のご注意



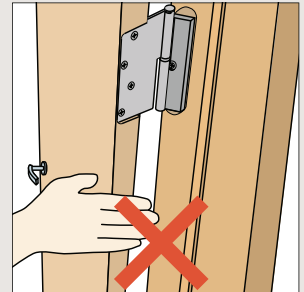
ドアやハンドルなどにぶら下がらない。
禁止 ドアにもたれない。

転倒・落下によりケガをする恐れがあります。



扉の開閉にあたっては、蝶番側のすき間に手を置かない。
禁止

指を挟んでケガをする恐れがあります。特に小さなお子様には充分ご注意ください。



熱源を近づけない。
禁止

暖房器具などから発生する熱風、熱気が直接当たらないようにしてください。扉の反り、変色、火災などの原因になります。



扉を開け放した状態にする時は、ドアストッパーなどをお使いください。
強制

強い風などで勢いよく閉まることもあり、ぶつかったり、ガラス割れなどで思わぬケガをする恐れがあります。

なお、マグネットストッパーをご使用の際は

しっかりかかるよう加減をして開閉してください。



お願い

不具合箇所は無理に直さないでください。

使用中に異常が感じられたり不具合が生じた場合、金具や部品を分解したり、無理に直そうとしますと、落下・破損・ケガの恐れがあり危険です。施工業者様までご連絡またはご相談ください。

お願い

ガラス(アクリル)の交換はおやめください。

使用中にガラス(アクリル)が割れた場合、ガラス(アクリル)のみの交換は出来ません。無理な交換には危険が伴いますので、おやめください。

お願い

扉を乱暴に扱わないでください。開閉は取っ手や引き手を持ち静かに行ってください。

乱暴に扱いますと、扉の破損や脱落によるケガの恐れがあります。
特に小さなお子様には充分ご注意ください。

お願い

開閉時には人がいないことを確認してください。

扉を開閉する際には、周囲に人がいないか、扉の開閉軌跡上にもものがないか確認のうえ操作をしてください。
特に小さなお子様にはご注意ください。

お願い

レールおよびファインモーション金具には、潤滑油等を塗布しないでください。

ファインモーション機構が正常に作動しなくなる場合があります。

お願い

直射日光に長時間さらさないでください。

扉の反り・変色・ヒビ割れなどの原因となります。
カーテンやブラインド等で極力直射日光を避けてください。

お願い

シールやテープ類を貼らないでください。

接着剤で表面が傷む恐れがあります。また、はがした後に汚れが残る恐れがありますので貼らないでください。

お願い

磁気を帯びた製品にはご注意ください。

マグネットストッパーは、ペースメーカー等医療電子機器の誤作動をまねく恐れがあります。医療電子機器のご使用者がいらっしゃる場合は医師にご相談のうえご採用ください。

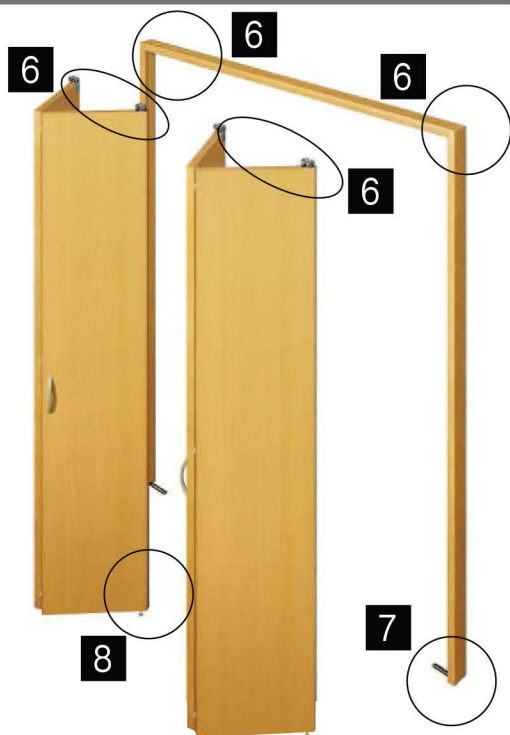
ファインモーション機構をご使用の際のご注意

- ファインモーション機構は通常に使用される際の、ドアを閉める時に生じる衝撃の軽減を目的としております。通常より速い速度で閉めると、十分な効果が得られない場合があります。
- 枠の手前でドアが止まるような緩やかな速度で閉めた場合は、ファインモーション機構が作動しない場合があります。
- 使用環境や室温によって、ファインモーション機構によるドアの閉じる速度は変化します。とくに、高層住宅など、強い風が吹く場所では、ドアが急速に閉まってしまうので、十分な効果が得られない場合があります。
- ドアの開閉状態や、窓を開けたことによる空気の流れによって、ファインモーション機構によるドアの閉じ込み速さやダンパーの強さが変化することがあります。
- ドアの重量やサイズによって、ファインモーション機構によるドアの閉じ込み速さやダンパーの強さが変化することがあります。

簡単な調整方法 Q & A クロゼット折れ戸

クロゼット折れ戸各部名称

三方枠(下レールなし)



上用軸受け



下用軸受け



振れ止め金具
0.75間・1.0間〈扉2セット〉用



振れ止め金具
0.5間〈扉1セット〉用
※0.5間の場合は扉と枠側に金具が付きます。

室内ドア

クロゼット

シューズボックス

カウンター

簡単な調整方法 Q & A クロゼット開き戸

室内ドア

クロゼット

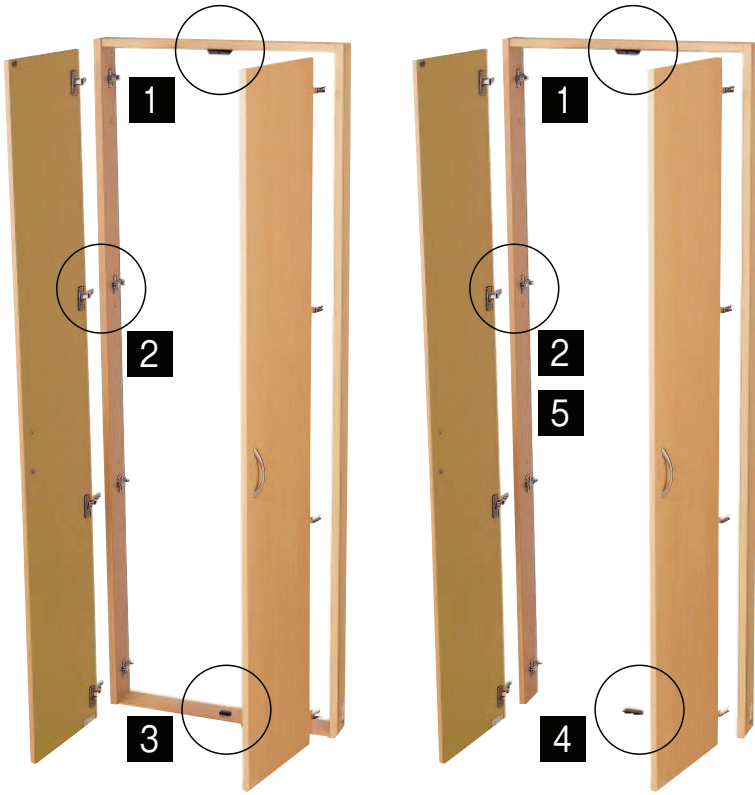
シューズボックス

カウンター

クロゼット開き戸各部名称

四方枠

三方枠



1 マグネットキャッチ



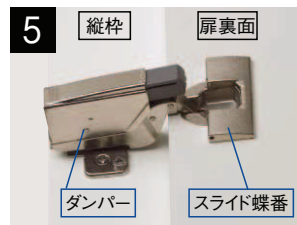
2 ワンタッチ蝶番



3 戸当たり(四方枠)



4 調整ドアストッパー(三方枠)
※両開き仕様のみ



5 縦枠 扉裏面
ダンパー スライド蝶番
ファインモーション機構(ダンパー)
※三方枠のみ

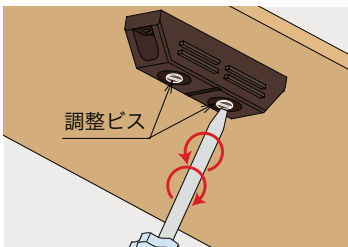
Q

扉が閉まりきらない。

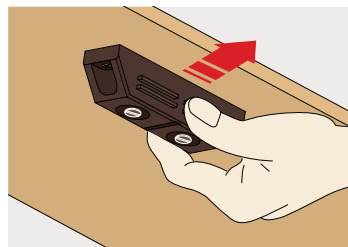
A

- ① マグネットキャッチの調整が合っておりませんので、調整を行ってください。
- ② 調整ドアストッパーの調整を行ってください。※三方枠両開き仕様のみ

① マグネットキャッチの調整

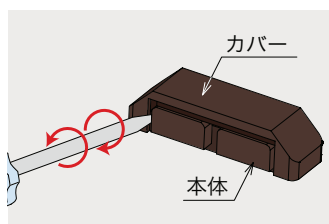


① マグネットキャッチの上部のビスを、マイナスドライバーで緩めます。

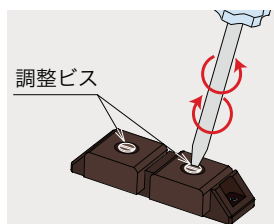


② 前方へ最大3.5mmスライドできます。調整後、ビスを締め直してください。

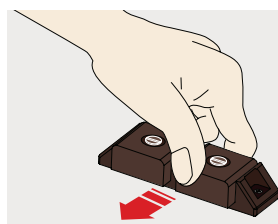
② 調整ドアストッパーの調整 ※三方枠両開き仕様のみ



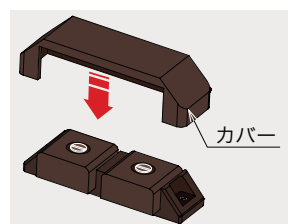
① カバーと本体のすき間にマイナスドライバーを差し込み回転させてカバーを外します。



② 調整ビスをマイナスドライバーで緩めます。



③ 前方へ最大3.5mmスライドできます。



④ 調整後ビスを締め直してカバーをかぶせてください。

Q

扉の上下と縦枠のすき間が一定にならない。扉と扉のすき間、扉と縦枠とのすき間が一定にならない。

A

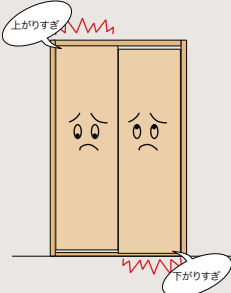
扉が傾いている可能性がありますので、蝶番にて扉の調整を行ってください。



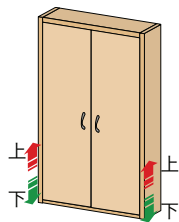
調整ビス以外は緩めたり、締め直したりしないでください。
緩めたり、締め直したりすると、ビス保持力がなくなり、扉が落下してケガをする恐れがあります。

※ファインモーション機構付き蝶番の場合、ファインモーションを外してから扉の調整を行ってください。
取り外し方は、下記『ファインモーション機構部の取り外し・取り付けについて』をご参照ください。

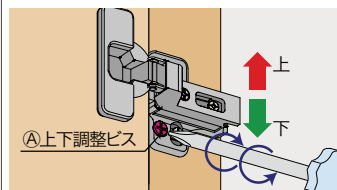
【上下が合わない場合】



①扉の上下調整

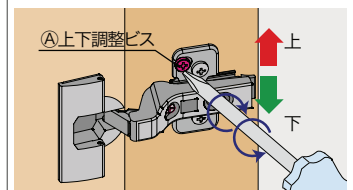


ファインモーション機構なしの場合
上下調整ビスを回して扉を上下に調整します。



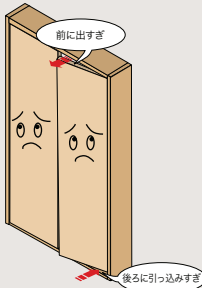
調整範囲(出荷基準位置より)
上に2mm 下に2mm

ファインモーション機構付きの場合
上下調整ビスを回して扉を上下に調整します。

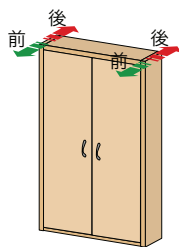


調整範囲(出荷基準位置より)
上に2mm 下に2mm

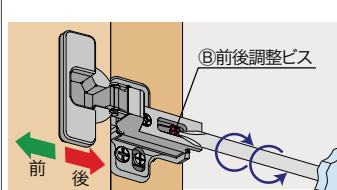
【前後が合わない場合】



②扉の前後調整

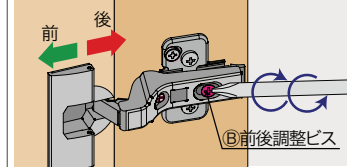


ファインモーション機構なしの場合
上下調整ビスを回して扉を上下に調整します。



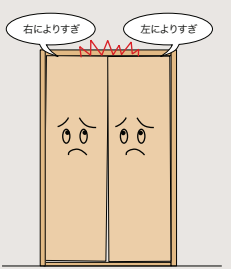
調整範囲(出荷基準位置より)
後ろに0.5mm 前に2.8mm

ファインモーション機構付きの場合
前後調整ビスを緩めて扉を前後に調整します。
調整後はビスを締め直してください。

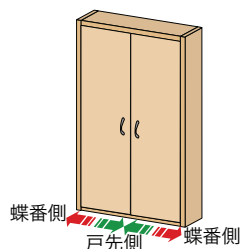


調整範囲(出荷基準位置より)
後ろに1mm 前に3mm

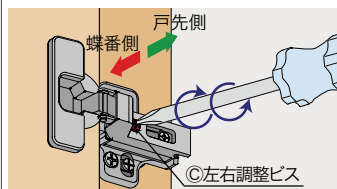
【左右が合わない場合】



③扉の左右調整

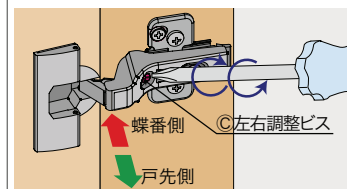


ファインモーション機構なしの場合
左右調整ビスを回して扉を左右に調整します。



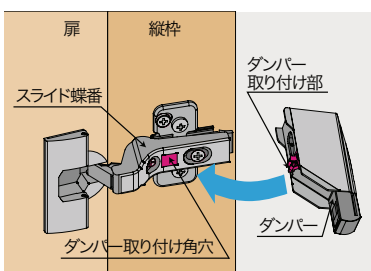
調整範囲(出荷基準位置より)
蝶番側に1.5mm 戸先側に4.5mm

ファインモーション機構付きの場合
左右調整ビスを回して扉を左右に調整します。

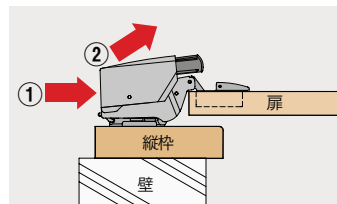


調整範囲(出荷基準位置より)
蝶番側に2mm 戸先側に2mm

ファインモーション機構部の取り外し・取り付けについて ※ファインモーション機構付き蝶番の場合のみ

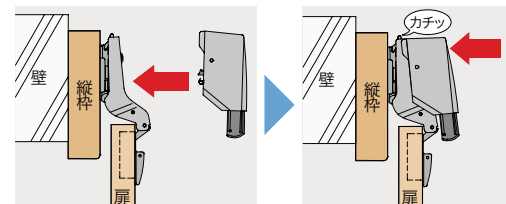


■ファインモーション機構部の取り外し方



①ダンパーを扉の方へ押しながら、
②持ち上げるように外してください。

■ファインモーション機構部の取り付け方



スライド蝶番のダンパー取り付け角穴に、ダンパーの取り付け部をはめ込みます。(カチッと音がするまではめ込んでください)

使用上のご注意



扉や可動部のすき間に指などを入れない。

禁止

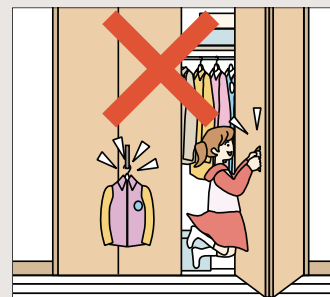
指を挟んでケガをする恐れがあります。特に小さなお子様には充分ご注意ください。



扉や取っ手にぶらさがらない。ものを引っ掛けない。

禁止

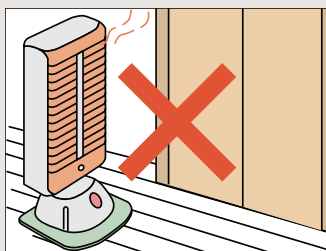
扉の脱落、取っ手脱落によりケガをする恐れがあります。特に小さなお子様には充分ご注意ください。



熱源を近づけない。

禁止

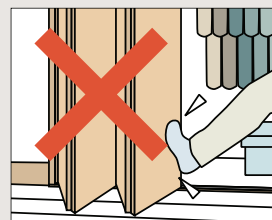
暖房器具などから発生する熱風、熱気が直接当たらないようにしてください。扉の反り・変色・火災などの原因になります。



お願い

扉を乱暴に扱わないでください。開閉は取っ手を持ち静かに行ってください。

乱暴に扱いますと、扉の破損や脱落によるケガの恐れがあります。特に小さなお子様には充分ご注意ください。



お願い

不具合箇所は無理に直さないでください。

使用中に異常が感じられたり不具合が生じた場合、金具や部品を分解したり、無理に直そうとしますと、落下・破損・ケガの恐れがあり危険です。施工業者様までご連絡またはご相談ください。

お願い

開閉時には人がいないことを確認してください。

扉を開閉する際には、周囲に人がいないか、扉の開閉軌跡上にもものがないか確認のうえ操作をしてください。特に小さなお子様には充分ご注意ください。

お願い

シールやテープ類を貼らないでください。

接着剤で表面が傷む恐れがあります。また、はがした後に汚れが残る恐れがありますので貼らないでください。

お願い

直射日光に長時間さらさないでください。

扉の反り・変色・ヒビ割れなどの原因となります。カーテンやブラインド等で極力直射日光を避けてください。

お願い

ファインモーション付きの場合、扉を故意に強く閉めないでください。

ファインモーション機構の作動に支障をきたす恐れがあります。

お願い

ファインモーション付きの場合、ファインモーション機構にオイルやグリスを塗らないでください。

ファインモーション機構の作動に支障をきたす恐れがあります。

ファインモーション機構をご使用の際のご注意

- ダンパーを取り付ける前に、扉を正常に開閉できる状態に調整してください。
- ファインモーション機構は通常に使用される際の、扉を閉める時に生じる衝撃の軽減を目的としております。通常より速い速度で閉めると、十分な効果が得られない場合があります。
- 枠の手前で扉が止まるような緩やかな速度で閉めた場合は、ファインモーション機構が作動しない場合があります。
- 使用環境や室温によって、ファインモーション機構による扉の閉じる速度は変化します。とくに、高層住宅など、強い風が吹く場所では、扉が急速に閉まってしまうので、十分な効果を得られない場合があります。
- 扉の開閉状態や、窓を開けたことによる空気の流れによって、ファインモーション機構による扉の閉じ込み速さやダンパーの強さが変化することがあります。
- 扉の重量やサイズによって、ファインモーション機構による扉の閉じ込み速さやダンパーの強さが変化することがあります。

http://www.eidai.com

安全に関するご注意

- 本製品は一般住宅用(室内専用)です。病院や施設等、用途や取り扱いが異なる場所には使用しないでください。
- 製品のご使用前に「取扱説明書」を必ず受け取り、よくお読みいただくか、ご購入された販売店・施工店にご相談の上、正しくご使用ください。
- 製品によっては、専門の工事を必要とするものや使用場所・用途などに制限があるものがあります。ご購入された販売店・施工店にご確認ください。
- 本カタログ掲載製品は製品に同梱されている施工説明書と異なった施工をされますと事故につながる危険性がありますのでご注意ください。

おことわり

- 製品の仕様や価格、その他掲載内容は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。
- 印刷物と実物では多少色調が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本書に収録したものはすべて弊社に著作権の存するものですから、無断の複製はかたくお断りいたします。
- 製品に同梱されている施工説明書と異なった施工による返品・取り替えはご容赦ください。

お客様相談センター

 0120-685-110

受付時間 **平日** 9:00~19:00 **土曜日** 9:00~18:00
休業日 日曜日、祝日、年末年始

E-mail : cs@eidai-sangyo.co.jp

永大産業株式会社 内装システム事業部

●お問い合わせ・ご用命は…